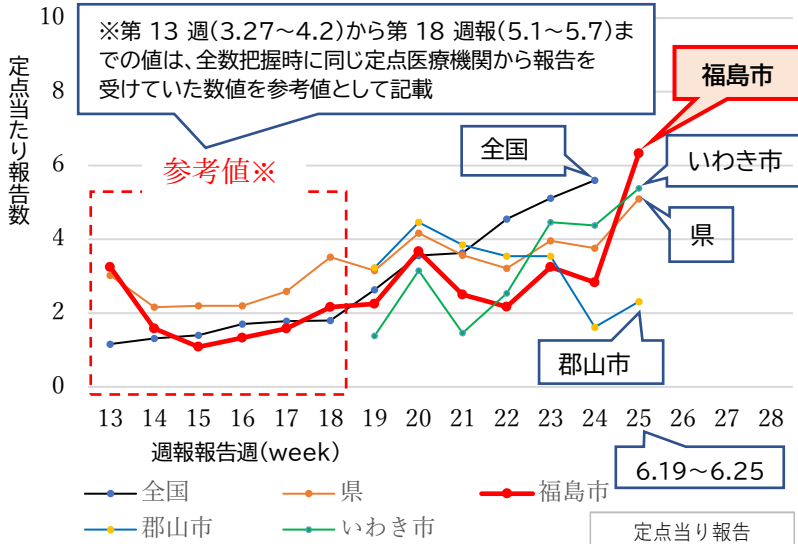


# 福島市保健所 感染症だより



## 新型コロナウイルス感染症は増加の傾向です

### 発生動向推移 (全国、県内、中核市)



新型コロナウイルス感染症は、全数把握から定点医療機関(市内 12 医療機関)からの報告により発生動向を把握することになりました。市内の報告の推移は左記の通り増加傾向です。

5類へ移行になってもウイルスの特性は変わりません。手洗いや換気などの基本的な感染対策の継続、高齢者施設や病院に行くときのマスクの着用等、**場面に応じた適切な感染対策をしましょう。**また症状がある時は、重症化リスクのある方との面会や人ごみを避けるようにしましょう。

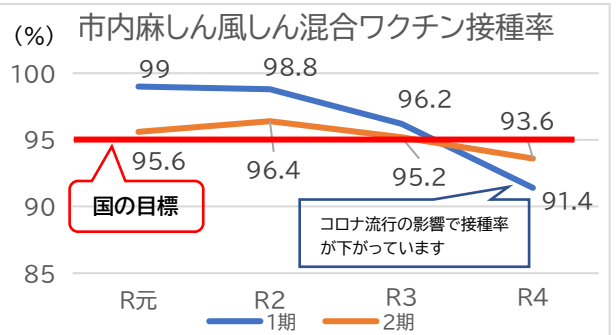
## 麻しん風しんの予防には、2回の接種が有効です

日本は 2015 年に麻しん排除状態となり 2015 年以降の発生については海外からの輸入例と輸入例からの感染事例となっています。国内の発生状況は 2023 年 6 月現在、16 例で、2022 年 6 例に比べ増えています。麻しんは**非常に感染力が強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ 100%発症する**と言われています。また、風しんは妊娠初期に妊婦がかかると赤ちゃんに難聴や心疾患等を引き起こすことがあります。

手洗い、マスクのみでは予防できないため、**予防接種が最も有効な予防法**です。予防接種で確実な免疫を得るためには、99%以上の方が免疫がつくと言われる2回接種がのぞましいとされています。定期接種は、1期・2期の2回あり、**接種期間内であれば無料**で接種できます。**接種期間を過ぎると全額自己負担(約1万円/回)**になります。母子健康手帳の予防接種の記録を確認し、忘れずに接種しましょう。

### ◎定期接種対象者

	回数	接種期間等
麻しん風しん混合1期	1回	<b>1歳~2歳未満</b>
麻しん風しん混合2期	1回	小学校入学前の1年間(保育園、幼稚園の最年長児) <b>平成29年4月2日~平成30年4月1日生まれの者で、令和6年3月31日接種まで</b>



麻しんは世界で流行している感染症です。海外に行く際は、必ず予防接種をしているか確認しましょう

# 子どもたちの風邪にご注意ください



現在、RS ウイルス、咽頭結膜熱、が流行しています。また初夏に流行しやすい手足口病、ヘルパンギーナ、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の発生も報告もされています。



予防方法は、どれも**流水と石けんによるこまめな手洗い、手指消毒**です。また咳やくしゃみでも感染してしまうため、咳エチケットや場面や症状に応じてマスクの着用をしましょう！

重症化することもあるため、**軽微な症状でも学校等をお休みし、早めにかかりつけ医に相談・受診**をしてください。

## RS ウイルス

特徴：9 月頃から流行し、初春まで続くとされてきたが、近年では夏季より流行が始まるようになってきている。

潜伏期間：4～6日

症状：発熱、鼻汁、咳等（**咳の悪化や喘鳴**が見られたら注意が必要）

感染経路：飛沫感染や接触感染



## ヘルパンギーナ

特徴：初夏から秋にかけて**乳幼児**に多い。

潜伏期間：2～4日

症状：突然の高熱、のどの痛み、嘔吐等

感染経路：飛沫感染、接触感染



## 咽頭結膜熱

特徴：**プール熱**とも呼ばれており、7月～8月がピーク

潜伏期間：5～7日

（感染してから症状が出るまでの期間）

症状：発熱（38～39℃）、のどの痛み、結膜炎

感染経路：感染者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込む「飛沫感染」、細菌が付着した手で口等を触れることによる「接触感染」



## 手足口病

特徴：報告者の約9割が**5歳以下**。治った後や症状がなくてもウイルスが出る

潜伏期間：3～5日

症状：口の中、手のひら、足の裏に**2～3mm の水泡性の発疹**が出る。

感染経路：飛沫感染、接触感染、便の中に排出されたウイルスが口に入って感染する糞口感染。



## A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

特徴：冬季及び春から初夏にかけての2つの流行のピークがみられる。 潜伏期間：2～5日

症状：発熱やのどの痛み。また、舌がいちごのように**ブツブツ**した状態になることがある。

感染経路：飛沫感染や接触感染



発行日：令和5年6月29日 発行先：福島市保健所 保健予防課感染症対策係

住所：〒960-8002 福島県福島市森合町10-1 電話番号：024-572-3152

